

## 令和5年度事業報告

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

### I. 美術館運営事業

#### 1. 展覧会の開催

MOA美術館を年間304日、箱根美術館を年間312日、それぞれ開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展を開催した。

##### (1) MOA美術館 (総入館者数 362,040名)

###### ① 岩佐又兵衛 極彩色ワールド 重文「浄瑠璃物語絵巻」

令和5年3月17日(金)～5月23日(火)(期間入館者数 65,147名)

出陳件数 6件

又兵衛筆とされる絵巻群中最も色彩の華麗な「浄瑠璃物語絵巻」全12巻を公開した。細部まで繰り広げられる極彩色の世界を楽しめるよう、お客様が全場面を大型スクリーンでスクロールできるようにした。

###### ② #東海道五十三次 with 交通系 YouTuber・スーツ

令和5年5月26日(金)～7月10日(月)(期間入館者数 33,199名)

出陳件数 55件

「保永堂版 東海道五十三次」の全55作品の展観に合わせ、YouTubeのチャンネル内で自転車に乗って実際に東海道を旅した交通系 YouTuber・スーツの旅を紹介した。また東海道の様子を撮影しパネル展示した。

###### ③ 北斎 The Great Wave×Digital

令和5年7月14日(金)～8月29日(火)(期間入館者数 62,078名)

出陳件数 47件

葛飾北斎(1760-1849)の代表作として知られる「富嶽三十六景」をデジタル技術を活用した新しい角度で展観した。NHK Eテレ『びじゅチューン!』で著名な現代アーティスト・井上涼さんによる新作アニメーションも上映した。

###### ④ 7人の人間国宝展

令和5年9月1日(金)～10月17日(火)(期間入館者数 41,916名)

出陳件数 34件

伝統工芸において各分野を代表する7人の人間国宝を取り上げ、その作品34点

を展観した。陶芸、染織、漆芸、竹工芸など、自然の素材を活かした作品の魅力を発信した。

⑤ 十三代三輪休雪 茶の湯の造形

令和5年10月20日（金）～12月10日（日）（期間入館者数 47,511名）

出陳件数 26件

萩焼窯元の名家に生まれ、現代アートを学んだ十三代三輪休雪の作品を日本美術界の第一線で活躍する千住博、杉本博司、室瀬和美的の作品と取り合わせて展示した。また、制作の様子を大画面で上映した。

⑥ 吉田博木版画の100年

令和5年12月16日（土）～令和6年1月23日（火）

（期間入館者数 40,165名）

出陳件数 65件

明治から昭和にかけて西洋画壇を牽引した吉田博が本格的に木版画制作を開始するきっかけとなった外遊から100年を記念し、優品の数々を展観した。代表作「帆船」をテーマにプロジェクションを実施し、魅力の発信に努めた。

⑦ 名品展 国宝「紅白梅図屏風」

令和6年2月2日（金）～令和6年2月27日（火）（期間入館者数 41,308名）

出陳件数 72件

「紅白梅図屏風」をはじめ野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、三大手鑑の一つとして著名な手鑑「翰墨城」の国宝3件の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選して展観した。

⑧ UKIYO-E 江戸の美人画

令和6年3月1日（金）～令和6年4月16日（火）（期間入館者数 58,718名）

出陳件数 68件

当館コレクションの中から肉筆及び版画の美人画作品を展観するとともに、重文「婦女風俗十二ヶ月図」をテーマにオリジナルのデジタル映像を上映して、その魅力を発信した。

(2) 箱根美術館（総入館者数 103,866名）

① 常設展示

(a) 令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

(b) 別館

令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

創立者岡田茂吉の生涯と事蹟を、自筆書及びパネル等により紹介した。

## ② 特別展示

- (a) 令和5年3月24日(金)～令和5年6月7日(水)  
(期間入館者数：13,302名)  
展示室1にて「色絵陶磁器」展の開催
- (b) 令和5年6月9日(金)～令和5年9月6日(水)  
(期間入館者数：21,493名)  
展示室1にて「近代日本の木版画」の開催
- (c) 令和5年9月8日(金)～令和5年12月6日(水)  
(期間入館者数：47,148名)  
展示室1にて「現代の工芸 人間国宝を中心に」展の開催  
展示室2にて「松井康生展」
- (d) 令和5年12月8日(金)～令和6年3月27日(水)  
(期間入館者数：21,794名)  
展示室1にて「所蔵 茶の湯のやきもの」展の開催
- (e) 令和6年3月29日(金)～令和6年6月12日(水)  
(期間入館者数：未確定)  
展示室1にて企画展示「色絵陶磁器」展の開催

(臨時休館)

令和6年2月5日(月)13時～令和6年2月6日(火)12時 雪による積雪のため

## 2. 調査研究

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

以下の研究課題の最終年度である5年目は、ベトナム螺鈿の起源に関わる古文書を調査し、その起源が通説の15世紀から11世紀に遡る可能性を示した。また、ベトナム、タイ、フィリピン等で採取したヤコウガイ30個体80試料につき、岩崎均氏(大正大学教授)や長谷川浩氏(金沢大学)の協力のもと、素材調査を実施した。

研究課題名：環南シナ海・インド洋海域が育む近世螺鈿の諸相と貝文化圏の構想  
—シェルロード

研究代表者：内田篤呉

## 3. 賛助会員(友の会)の拡充

会員数 7,209名

## 4. その他

(1) 季刊誌の発行

財団活動を広く知らせるための「美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

## II. 表彰・コンクール事業

### 1. 第34回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培うことを目的とした表記の全国展を開催した。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供等）を実施した。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定した。

令和5年度実績：298会場 応募数190,347点 参加校5,887校

海外参加11か国（アメリカ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、タイ、ペルー、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル）

- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館の全国展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① 絵画の部（220点）

- (a) 文部科学大臣賞 6点
- (b) 外務大臣賞 3点
- (c) 内閣府特命担当大臣賞 1点
- (d) 農林水産大臣賞 1点
- (e) 環境大臣賞 1点
- (f) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
- (g) 全国子ども会連合会会長賞 1点
- (h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- (i) 審査員賞 2点
- 金賞から入選 203点

② 書写の部（80点）

- (a) 文部科学大臣賞 6点
- (b) 内閣府特命担当大臣賞 1点

- (c) 農林水産大臣賞 1点
- (d) 環境大臣賞 1点
- (e) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
- (f) 全国子ども会連合会会長賞 1点
- (g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- (h) 審査員賞 1点
- 金賞から入選 67点

③ 団体の部

- (a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校
- (b) 内閣府特命担当大臣賞 2実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

展 示：令和5年12月29日（金）～2月14日（水）

入賞入選300点と団体の部をMOA美術館1階に展示した。

表彰式：令和6年1月28日（日）10:00～12:00 能楽堂

参加者 247名 受賞者（金賞以上の37名）、保護者、来賓

来 賓

・文部科学省教科調査官	豊口 和士
・文部科学省教科調査官	小林 恭代
・こども家庭庁成育局参事官付参事官補佐	土佐 昭夫
・農林水産省農産局長	平形 雄策
・環境省自然環境局国立公園利用推進室長	水谷 努
・日本PTA全国協議会副会長	比嘉 里奈
・全国こども会連合会常務理事	山本 哲哉
・ボーイスカウト日本連盟専務理事	佐野 友保
・海外日系人協会事務局長	土方 陽美
・全国新聞社協議会常任理事	山本 哲哉
・元環太平洋大学副学長	村上 尚徳
・東京学芸大学名誉教授	長野 秀章
・東京学芸大学教授	加藤 泰弘
・東京家政大学教授	岡田 京子

(4) 児童作品を通じた国際交流「日タイ国際交流展」の開催

令和5年10月 ランシット教育科学センター（タイ王国パトゥムターニー県）

(5) 児童作品展ホームページの運用および改良を行った。

全国の実行委員会紹介ページの管理、情操教育活動の紹介など。

2. 芸術選奨

### (1) 岡田茂吉賞

岡田茂吉賞は、昭和 63 年、日本美術界の発展に寄与することを目的として設立され、現代を代表する芸術賞として評価されている。

本年度は、実施年度に該当せず、行わなかった。

### (2) 日本工芸会への賞の交付

- ① 日本伝統工芸展 奨励賞
- ② 日本伝統工芸陶芸展 MOA美術館賞
- ③ 日本伝統工芸染織展 MOA美術館賞
- ④ 日本伝統漆芸展 MOA美術館賞
- ⑤ 伝統工芸日本金工展 MOA美術館賞
- ⑥ 伝統工芸木竹展 MOA美術館賞
- ⑦ 伝統工芸人形展 MOA美術館賞
- ⑧ 伝統工芸諸工芸展 MOA美術館賞

## Ⅲ. 体験活動等の事業

### 1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行なった。

また、日本の伝統的な建築（光琳屋敷、茶室）や庭園、或いは、能楽や舞踊、美術工芸、和食などの日本文化に触れ、体験する下記の事業を実施した。

#### (1) 体験プログラム（お茶、お花など）

##### ① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の光琳屋敷や茶室一白庵のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。

当ガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修等にも活用され、その受け入れを行った。

##### ② 光琳乾山忌茶会

令和 5 年 6 月 2 日・6 月 3 日に京都・嵯峨野の庭園「平安郷」にて開催した。

参加者数 6 月 2 日 290 名 6 月 3 日 288 名 計 578 名

##### ③ 外国人向け日本文化体験プログラムの開催（日本博 2.0 事業）

イ 生け花体験 令和 5 年 8 月 19 日 光琳屋敷 参加者 4 名

ロ 着付け体験 令和 6 年 3 月 19 日～3 月 30 日の営業日 能楽堂 参加者 9 名

④ ワークショップ（箱根美術館）

加盟する「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会」が企画・募集し、加盟施設を巡る「ミュージアムリレー」を5月10日に開催し、当館は近隣の「箱根写真美術館」「強羅公園」と共に1日で巡る企画として、展示解説、登録文化財「神山荘」内部や庭園等の見学をするプログラムで行なった。

(2) 能楽教室 体験・講座と能楽鑑賞（文化観光事業）

能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞を行った。

期 日：令和5年7月31日（月）

講 座：シテ方宝生流 辰巳満次郎

演目解説：能「小鍛治」白頭 講師：シテ方宝生流 辰巳満次郎

狂言「魚説法」講師：狂言方和泉流 野村萬斎

鑑 賞：宝生流「小鍛治」 辰巳満次郎他

和泉流「魚説法」 野村 萬斎他

参加者数：能楽器体験 60名、講座と鑑賞 490名

(3) Kōgei Dining 工芸ダイニング 2023-舞踊・工芸・食-（日本博2.0事業）

鑑賞するだけでは知ることのできない工芸のもつ「用の美」を、参加者自身の手で確認していただく貴重な機会を提供することを目的として開催した。

プログラム

令和5年11月4日（土）・5日（日）・6日（月）・7日（火）10:00～17:30

（和食 60名、洋食 31名 合計 91名）

① 茶の湯体験

＜人間国宝によるミニトーク＞

11月4日 室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）

11月5日 藤沼 昇（重要無形文化財「竹工芸」保持者）

11月6日 福島善三（重要無形文化財「小石原焼」保持者）

11月7日 十三代三輪休雪

② 食事会

11月4日・5日・6日 和食（会場：花の茶屋）

11月7日 洋食（会場：パティスリーヨロイツカ）

和食は花の茶屋料理長による懐石、洋食は鎧塚俊彦によるフレンチを提供

③ 人間国宝・坂東玉三郎舞踊公演

一 口上 衣裳の解説

二 三曲糸の調 長唄囃子連中

④ 工芸作品展示販売／展覧会鑑賞

展覧会：特別展 十三代三輪休雪 茶の湯の造形

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

## 1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会やコンサート等の公演を行った。

### (1) 熱海座公演

#### ① 演能会 春公演（日本博 2.0 事業）

期 日：令和 5 年 5 月 13 日（土）（入場者数 491 名）

演 目：能「半蔀」立花 宝生流 人間国宝 大坪喜美雄 他  
狂言「真奪」和泉流 野村万蔵 他

#### ② 井上涼 びじゅチューン！ライブ 2023 in 能楽堂

期 日：令和 5 年 8 月 12 日（土）（入場者数 AM 501 名 PM 501 名）

#### ③ 演能会 秋公演（日本博 2.0 事業）

期 日：令和 5 年 9 月 24 日（日）（入場者数 487 名）

演 目：能「三輪」神楽留 観世流 人間国宝 大槻文蔵 他  
狂言「文蔵」和泉流 山本泰太郎 他

#### ④ 「坂東玉三郎 能楽堂特別舞踊公演」

期 日：令和 5 年 11 月 4 日（土）（入場者数 489 名）

令和 5 年 11 月 5 日（日）（入場者数 482 名）

令和 5 年 11 月 6 日（月）（入場者数 481 名）

令和 5 年 11 月 7 日（火）（入場者数 483 名）

演 目：口上～衣裳解説  
三曲糸の調

出 演：坂東玉三郎 他

#### ⑤ 新春の舞

期 日：令和 6 年 1 月 1 日（月）（1 回公演 入場者数 150 名）

出 演：熱海芸妓置屋組合

#### ⑥ 新春獅子舞

期 日：令和 6 年 1 月 2 日（火）（3 回公演 入場者数 1047 名）

出 演：横浜・関古式囃子保存会

#### ⑦ 琉球舞踊公演（日本博 2.0 事業）

期 日：令和 6 年 2 月 3 日（土）（入場者数 471 名）

出 演：宮城幸子（重要無形文化財「琉球舞踊立方」保持者）  
沖縄県立芸術大学 講師及び琉球芸能専攻学生

演 目：若衆特牛節  
久志の若按司道行口説  
諸屯  
貫花  
護身の舞  
加那よ一天川  
花風



⑧ 東儀秀樹コンサート（日本博 2.0 事業）

期 日：令和 6 年 3 月 16 日（土）（入場者数 497 名）

出 演：東儀秀樹（雅楽師）

東儀典親（笙・ギター）

×野護元（龍笛）

中村華子（笙）

演 目：越天楽幻想曲

三ツ星

大河悠久 他

## 2. 主催講座

### (1) 光輪花クラブ

- ① 創立者の願いである生活の芸術化を具体化するべく、光輪花クラブにおいて美術品、短歌、茶の湯等の学びを取り入れたテキスト、カリキュラムに基づき「美的生活コース」「芸術コースⅠ」「芸術コースⅡ」を推進した。

（会員合計数 4,562 名）

### ② 花サロン

生活の器を工夫していけばなの楽しみ方を提案する 6 回型の光輪花講習会を開催し、光輪花クラブ入門コースとしての役割を持たせる。

### ③ キッズ光輪花クラブ

光輪花クラブの子ども版として「キッズ光輪花クラブ」を開催した。

### ④ 光輪花クラブ開講インストラクターへの支援（規準に基づく経費補助）

- ⑤ 光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展に参加した。また光輪花クラブホームページを制作、6 月に公開した。

### (2) イタリア・ボローニャ大学「岡田茂吉・美の講座」

イタリア・ボローニャ大学との協定に基づき、岡田茂吉哲学の研究と普及を進めるべく、春学期 4 回、秋学期 2 回の講座を開催した。

## V. 育成事業

### 1. MOA 美術館における研修

#### (1) ユース研修

青少年の健全な心と体の育成に資するべく美術教育の普及に努め、活動の牽引役となる青年人材育成のため、MOA 美術館ユース研修（2 回、30 名）を開催した。

- (2) 美による情操教育を、ボランティアとして推進するインストラクターのリーダー的人材育成として、リーダー養成研修（2 回、20 名）を開催した。

## 2. スクールプログラム

### (1) 版画「東海道五十三次」を活用した出張授業の実施

- ① 11月8日 熱海第二小学校 3年生 28名
- ② 11月13日 玉野市立荘内中学校 400名
- ③ 11月14日 玉野市立宇野中学校 305名

### (2) 「紅白梅図屏風」レプリカを活用した出張授業

9月15日 台東区立浅草小学校 5年生 68名

### (3) 茶の湯体験

箱根美術館

令和6年3月6日（水）函嶺白百合学園初等科6年生と保護者 20名

卒業茶会として、初等科の6年生が保護者にお茶を点てる体験を行った。

## 3. 花による美育活動の推進－MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

(1) インストラクター数 4,035名

(2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。

(3) インストラクター更新研修を実施した。

(4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに34名に資格付与した。

(5) 光輪花クラブを中心とする美育推進会合を定期的で開催した。（年6回）

## VI. 経営基盤の拡充

### 1. 経営改善

#### (1) 顧客満足循環型経営への改善

- ① 展覧会等の企画充実、インバウンド対策、広報発信力強化等をめざし、専門的な技能・知識を有する人材を積極的に採用・育成した。
- ② 入館者増加に伴う雇用確保を目的に、従業員の勤務時間や処遇を改善した。

#### (2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

##### ① MOA美術館

(a) 熱海市内及び近郊の宿泊施設等へ「前売り券」の取り組みを行った。

- (b) 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。
  - (c) 近郊の宿泊施設との入館及びイベント等のセットプラン造成に取り組んだ。
  - (d) 市内観光の周遊性の促進
    - イ 市内文化施設での美術品展示（文化観光事業）
      - 「名品展 国宝『紅白梅図屏風』」に併せて、市指定文化財「起雲閣」において紅白梅図屏風（レプリカ）を展示した。
    - ロ 熱海芸術祭パンフレットに「十三代三輪休雪と茶の湯」展情報の掲載
  - (e) 海外プロモーション活動の強化（文化観光事業）
    - 静岡県海外駐在事務所、JNTOの現地事務所と連携し、台湾・タイの現地旅行社への営業活動を行なった。
- ② 箱根美術館  
箱根強羅公園との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ。
- (3) ユニークベニユーの推進（文化観光事業）
- ① 能楽堂や茶室等の施設の貸出を行なった。（14件）
  - ② メインロビーや円形ホールや外観等の諸施設を撮影・ロケ地として提供し、映画、テレビドラマ、CM、MV、雑誌のスチール等の貸出を行なった。（35件）
  - ③ 文化庁の令和6年度文化観光推進事業者向けハンドブックに「ユニークベニユーによる新たな活用と来訪者の獲得」としてMOA美術館の事例が掲載された。

## 2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進
- ① ポスター掲示・チラシ配布
    - (a) MOA美術館展覧会ポスターやチラシを熱海市内420か所及び全国140か所に掲出依頼した。
    - (b) 箱根美術館特別展示のチラシを作成し、箱根町および近隣市町内の40か所に掲出依頼した。
  - ② マスコミへの情報提供  
展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行なった。
- (2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み
- ① MOA美術館  
熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。
  - ② 箱根美術館
    - (a) 施設内の庭園「神仙郷」が国の名勝指定を受け、庭園内の紅葉時期に町民や近隣町内の各施設、団体等を招待し、広くご理解いただくと共に、今後の広報宣伝に繋げた。

(b) 箱根町、箱根DMO、箱根プロモーションフォーラム等の観光関係団体と連携し、当館及び箱根全体への観光客誘致の連携を図った。

(3) ホームページやSNS等による広報の充実

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど SNS の充実

- (a) 展覧会の見どころ、イベント情報、食、四季などの発信に努めた。
- (b) 「フォロワー」の獲得数等をバロメーターに、内容充実に努めた。

(4) 海外広報用動画コンテンツの制作（日本博 2.0 事業）

元 NHK アナウンサーの草野満代さんに出演を依頼し、海外に MOA 美術館の見どころを紹介するプロモーション動画を制作した。英語版、中国語版（繁体、簡体）、韓国語版、タイ語版、日本語版を海外の広報で活用し、公式ホームページに公開。

(5) インバウンド対応力向上等、職員の能力・資質を高める取り組み（文化観光事業）

- ① ゲストサービス課をはじめスタッフ対象英会話研修の実施
- ② 「花の茶屋」調理人や飲食部門の接客担当スタッフの和食（特に茶懐石）に関するスキルアップのため、懐石料理マナー研修への参加

(6) デジタル技術を活用した美術品や諸施設の多言語解説の取り組み（文化観光事業）

- ① 大型タッチディスプレイ設置による諸施設の分かりやすい解説の強化
- ② デジタル技術活用のための Wi-Fi 環境の整備

(7) ラグジュアリー層向け企画実施の取り組み

- ① 開館前・閉館後の展示室貸切り鑑賞、「黄金の茶室」の特別鑑賞、茶の庭を巡るガイド付きツアーと和食処「花の茶屋」の食事、茶室「一白庵」のお抹茶体験など、参加者のニーズに合わせた高付加価値のプログラムを提供した。（26 回、130 名）
- ② 熱海海上花火大会と学芸員解説付き特別展示鑑賞を懸け合わせたナイトミュージアムを開催した。（8 月 25 日、12 月 3 日の 2 回、48 名、文化観光事業）

(8) 円形ホール照明・演出等の改善（日本博 2.0 事業）

投影万華鏡コンテンツ及び 4 K 高画質映像システムへの更新

### 3. 施設の貸与事業

能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) 茶の庭・茶室の貸出

- ① 茶道裏千家淡交会関東第 3 地区茶会  
令和 5 年 10 月 29 日（日） 茶の庭貸切り（光琳屋敷、一白庵、花の茶屋、等）  
参加総数： 358 名

- ② 第37回 光琳茶会  
令和6年2月22日(木)・23日(金)の2日間開催(光琳屋敷、一白庵、等)  
参加者数: 初日 312名 2日目 309名 合計 621名
- ③ MOAあたみ幼児学園・親子茶会  
令和6年3月5日(火) 一白庵大広間 参加者数: 33名

(2) 能楽堂等の貸出

- ① にっぽん丸クルーズ 狂言(7月28日)
- ② 静岡県教育研究会夏季研究大会(8月2日)
- ③ 宝生流教授嘱託会第68回全国大会・静岡(8月6日)
- ④ 熱海地区安全運転管理協会講習会(9月8日)
- ⑤ 喜長会熱海稽古会(10月21日)
- ⑥ ウクライナ支援 加藤登紀子チャリティーコンサート(11月26日 ロイヤルリゾート熱海駅支店)
- ⑦ 令和6年熱海市二十歳の集い(1月7日)
- ⑧ 第23回アタミ・ジュニアグランプリ表彰式(1月21日)
- ⑨ 令和6年度総合防災訓練全体説明会(1月30日 熱海市危機管理課)
- ⑩ 熱海市地震防災講演会(2月7日)
- ⑪ 犯罪被害者支援講演会(2月19日 熱海警察署)

4. 美術館設備・施設(庭園を含む)改善・改修

(1) 美術館の安全確保に向けた対策

- ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修
  - (a) 箱根美術館 本館及び外柵の補修・塗り替え
  - (b) MOA美術館 3階切符売場前の第3ゲートの改修工事
  - (c) MOA美術館 ムアスクエア屋外トイレの改修・多機能化(文化観光事業)
  - (d) MOA美術館 本館用GR型防災受信機及び能楽堂棟防災中継器更新  
(国宝・重要文化財を保管する博物館等の防火設備補助申請)
  - (e) MOA美術館 エスカレーター棟防災受信機更新
  - (f) MOA美術館 館内空調熱源2次ポンプ(温水P8・P9)更新
  - (g) MOA美術館 収蔵庫・展示室空調用ケミカル活性炭更新工事
  - (h) MOA美術館 全トイレの光触媒コーティング施工
- ② 美術館の防災体制、危機管理体制の整備強化
  - (a) MOA美術館
    - イ 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。
    - ロ 防災訓練の実施(MOA美術館 令和5年7月27日、令和6年1月18日)
  - (b) 箱根美術館  
防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行った。

- (2) 植樹をはじめ、庭園の改善整備  
竹林内の歩道や階段の舗装工事（文化観光事業）

## 5. 補助金申請事業

### (1) 文化観光推進事業

令和2年度に認可を受けた「文化観光推進法に基づく拠点計画及び地域計画」を、地元熱海市・静岡県および関連企業・団体との協働の元、公的助成を受けながら地域の文化観光発展のための事業を本年度も実施した。（全5年計画）

### (2) 日本博2.0事業

令和4年度まで実施してきた工芸ダイニングの継続開催を中核に、「日本の美と心」を熱海とMOA美術館から世界に発信し、2025年大阪万博に向けて多くのインバウンド観光客に訪れていただくために、独立行政法人日本芸術文化振興会の委託を受けて、国が推進している文化プログラム「日本博2.0」事業を実施した。

### (3) 熱海市補助金 「熱海座」公演

能楽堂を拠点に伝統芸能やクラシック、ジャズなどの上質な舞台芸術や音楽を熱海市民の文化昂揚と観光客誘致を図り、地方創成の営みに寄与することを目的に公演を開催した。

### (4) 地域と一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業

観光庁と環境省が、個別の施設でなく、市町村単位で、観光地の活性化のための補助金交付をおこなう事業に、箱根美術館が他の80施設と一体となって箱根町DMOとして、申請し交付を受けた。

事業内容として、箱根美術館本館周囲と敷地境界の鉄柵の塗装改修、および神仙郷内で利用できる屋外用Wi-Fiシステム設置を、約143万円の補助（2分の1）を受けておこなった。

## 6. 飲食及び物品販売

### (1) MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、以下、直営3店舗の運営を行った。

#### ① 和食 花の茶屋

地産地消とオーガニック・自然農法素材による日本料理を提供した。

#### ② the café

シフォンケーキ、ソフトクリーム等の軽食及びコーヒー等ドリンク類を提供した。

- ③ ラ・パティスリー・デュ・ミュゼー・パール・トシ・ヨロイツカ  
パティシエ・鎧塚俊彦プロデュースのスイーツ店を営業。人間国宝・室瀬和美デザインによるカップ&プレートで、ケーキ、軽食、ドリンク類を提供した。  
鎧塚氏へ依頼して、新メニュー3種（美術館限定のスイーツ）を開発した。

(2) ミュージアムショップの運営

- ① 箱根美術館売店「光琳堂」 箱根美術館の開館日に営業を行った。  
② 工芸ショップ（the shop ヨロイツカ）、オンラインによる工芸作品販売

以 上